

第5次川西市総合計画策定川西まちづくりワークショップ

NEWS LETTER

第3回
2011.09.23

第3回ワークショップを開催しました

総勢31名の方が参加されました

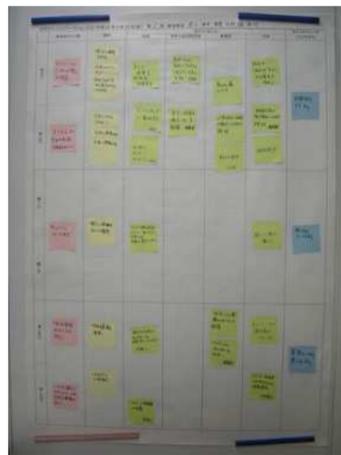
9月23日に第5次川西市総合計画策定に向けた川西まちづくりワークショップの第3回を開催し、総勢31名の方が参加されました。今回は班替えをしたこともあり、各班前回以上に活発に議論が行われ、様々な意見が出されました。



第3回は「学ぶ」「働く」「楽しむ」のライフシーンごとに議論を行いました

川西市の現状(強み・弱み) 将来ありたい姿、将来ありたい姿を実現するためにそれぞれが担えそうなこと、目指すべきまちのキャッチフレーズを「学ぶ」「働く」「楽しむ」のライフシーンごとに分けて議論を行いました。

1班



概要	将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
学ぶ	●まちづくりのための「学び」が活発	●現状を理解するため等	●学んだ成果を地域で活用する等	・自律(自立)するまち
学ぶ	●子どもたちに芝生の校庭で遊んでほしい	●子供にケガをさせない等	●ボランティアで参加する等	
働く	●「カンバン」ビジネス	●新しい税の収入の確保	●カンバン税の創設について多くのアイデアがあるので実現に努力したい等	・税収が上がるまち
楽しむ	●坂田金時のイベントを行う。	●今ある資源を活用	●坂田の金時のキャラクターと世界中に広げたい等	・資源をいかせて楽しむまち
楽しむ	●いつでも誰でもスポーツしたいときに出来る環境がほしい	●次世代の人材育成	●スポーツ経験者が指導等	

2班



概要	将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
学ぶ	●(仮称)川西市大学(超総合大学)	●学べる場が少ない	-	・いろんな出合いをよぶまち
学ぶ	●学校と地域のつながりを密にする	●中学校の部活動が少ない。教師だけに頼らない	●学校に関心を持つ等	
働く	●市民総起業化	●働く場が少ない	●ボランティアポイント制度	・みんなが生き活きはたらけるまち
働く	●待機児童解消ゼロ	●待機児童がいるという現実	●地域の高齢者に待機児童の面倒を見てもらう等	
楽しむ	●観光都市川西の確立	●素材はあるが活かされてない	●市内各グループに呼びかけて案内ができる人を集める等	・全国の人が「川西といえば」とイメージできるまち
楽しむ	●幅広い世代が集い・楽しめる場所がほしい	●そういった場所が少ない	●近くの公園の使用方法をみんなで見直す等	

3班



概要	将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
学ぶ	●市民教育を推進する	●生涯学習が充実しているから	●生涯学習に積極的に参加する等	・子供から大人まで向上心あふれる街
学ぶ	●学校の教育が充実して欲しい	●子供の教育が学習塾に依存しているから	●子供のしつけ等	
働く	●中高年世代の起業	●中高年世代の働く意欲作りと雇用をつむぎ	●退職した団塊の世代のやる気作り等	・働く喜びにあふれる街
働く	●大企業を誘致する	●雇用の確保と経済の振興のため	●起業のOBが誘致に協力等	
楽しむ	●運動施設をふやす	●健康作りと健全な精神作りのため	●施設を利用する等	・スポーツ文化施設が充実し明るく楽しく笑顔があふれる街
楽しむ	●文化的娯楽施設を誘致する	●映画やスーパー銭湯等の施設がない	●誘致する声を上げる等	

4 班



概要		将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
学ぶ	●教育の選択肢の多様化	●私立の教育機関がないので等	●学校教育に積極的に関わる等	●誰もが多様に学べるまち	
学ぶ	●市民の使いやすい公民館・図書館にする	●すべての市民に教育学習の場を			
働く	●農業への市民と企業の参加	●不耕作地を解消するため	●地場産の農作物を食べる等	●全ての能力をいかして働けるまち	
働く	●高齢者の能力の提供の場をつくる	●高齢者の能力を活かす	-		
楽しむ	●市外からの人を集められる観光資源の有効活用	●川西のPR不足、活性化、知名度	●中心市街地での市民によるイベント開催で市内外の注目をえる等	●自分達で楽しみをつくりだすまち	
楽しむ	●市民が運営参加できる文化芸術公園施設	●市民が参加することにより利用しやすいしあじみのある施設	●積極的に文化・芸術鑑賞に参加する等		

5 班



概要		将来ありたい姿	理由	担えそうなこと	キャッチフレーズ
学ぶ	●学齢期 ●教育を強化する	●若い世代にとって魅力的な町にする為等	●子供のしつけやマナー等の人間教育的な部分は市民と協働で行う	●学びのまち川西	
学ぶ	●生涯学習 ●まち全体を学びの場にする	●高校、事業者、役所、NPOなどそれぞれに講座をもって年間で学べる場をつくる まちの中にそれぞれ連携もできる等	●専門的な知識を活かして学習の場に提供する		
働く	●身近な小売店舗を増やす	-	●市内で消費する気持ちをもつ等	●事業者にも働く人にもサポートの行き届いたまち	
働く	●一時保育の場を増やす	●子育て世代が働きやすい条件等	●NPO的、CBなどで保育事業を立ち上げていく またその支援をする		
楽しむ	●歴史、文化、観光を市外にPRするインフォメーションセンターを作る	●「文化」遺産を活用したい等	●自らPR(口コミ)をする	●大人も楽しめて誇れるまち	
楽しむ	●中央北地区を活性化させる	●集客施設よりも文化安らぎの場に	●既存の団体や組織をつないで(ネットワークをつくる)場を提供していく		

第3回を振り返って

ライフシーンごとに将来像が出されました

各班、活発な議論が行われ、様々な視点からの意見が出されました。

「学ぶ」については、すべての市民が学べるような「生涯教育の場づくり」についての意見や、公立、私立学校の強化など「学校教育環境の充実」についての意見が多く出されました。

「働く」については、起業や企業誘致など「働ける場づくり」についての意見や、保育環境の充実などの「働くための環境の充実」についての意見が多く出されました。

「楽しむ」については、PR やイベントなどを通じて「既存の資源の有効活用を」という意見や、スポーツや文化芸術など多くの人が「楽しめる場づくりを」という意見が多く出されました。

今回は「助け合う」「尊ぶ」「関わる」のライフシーンごとに議論を行っていきます。



ふりかえりアンケートから

「ふりかえりアンケート」の中からのご意見をいくつかご紹介し、次回の改善に繋がります。

主な意見

- ・ ワークショップについての共有ができていなかった。
- ・ 「財政がないと何もできない」とは大変、最もな意見だった。
- ・ 終わる時間はきっちりと守りながら、内容の充実を図って欲しいです。
- ・ 意見が白熱したり、意見の偏りが見られると、どうしても時間が押してしまうのは仕方ないのかなと思いました。
- ・ 発表はある程度、時間を決める方が良いと思う。
- ・ 班のメンバー構成が変わり、結果として有効な意見が多く出たので参加した意義があった。
- ・ 話し合いの中では「財政難」だから出来ないと決めつけるところもあったが今現状の中でできることや行政だけでなくもっと市民が出来る事を打ち出せたらいいなと思った。
- ・ 時間配分の中でどうしても深い議論は省いて「ていよく」収めていってしまう感があり、消化不良、未消化で終わってしまった印象がある。

ワークショップの目指すところについて

今回のワークショップでは「せっかく出した意見が消えてしまっている」などの意見が出されました。

川西市には多様な人が様々な思いを持って生活しています。一つの「まち」としての方向性を決める際、その様々な思いを集約して共有化するプロセスが必要です。その「思いを集約して共有化すること」が今回のワークショップの目的です。

そのため、ワークショップの過程で個々人の意見が消えてしまうこともありますが、ここで共有化されたみなさんの思いはしっかりと受け止め、総合計画基本構想を策定していきます。